

エコドライブの普及・促進にむけた対策

- エコドライブにより**約25%の燃費改善効果**。走行状況により燃費改善効果は個人差があるものの、発進及び停止の多い都市部では、特に省エネルギー効果が期待できる。
- 平成15年度より関係4省庁(警察庁、経済産業省、国土交通省及び環境省)にてエコドライブ普及連絡会を設置し、普及促進を実施。
- 本連絡会にて、『エコドライブ10のすすめ』、やさしい発進の名称として、『ふんわりアクセル「eスタート」』、加えて、平成18年度6月に『エコドライブ普及・推進アクションプラン』を策定。

○エコドライブ10のすすめ (平成15年策定)

1. 無用なアイドリングをしない。
2. 無用な空ぶかしをしない。
3. 急発進及び急加速をしない。
4. 交通の状況に応じた安全な定速走行に努める。
5. 早めにシフトアップする。
6. 減速時には、エンジnbrakeキを活用する。
7. 確実な点検・整備と実施する。
8. 不用な荷物を積まない。
また、燃料をむやみに満タンにしない
9. エアコンの使用を控えめにする。
10. 計画的なドライブをする。

加速度的
普及のため、更なる
環境整備が必要

○やさしい発進の名称策定 (平成17年12月策定)

チームマイナス6%と協力し、一般ドライバーへ公募した結果、ふんわりアクセル『eスタート』に名称を決定。

○エコドライブ普及・推進アクションプラン (平成18年6月策定)

今後3年間をエコドライブの重点的な普及推進期間として、関係省庁及び関係機関等が一層連携し、着実なエコドライブの普及・推進に努める。

- ①エコドライブの定義の見直し、効果使用等の確定
- ②エコドライブの普及・啓発活動
- ③エコドライブ支援装置等の普及促進
- ④エコドライブ評価システムの確立
- ⑤地方自治体及び関係団体との横断的取組
- ⑥エコドライブ普及・推進に必要な調査

車両の走行速度抑制のための一般的な対策事例

【交差点のコンパクト化】



ボラード及び道路標示で交差点をコンパクトにすることにより、ドライバーがスピードを落とすことをねらったもの

【道路標示（イメージ）】



減速マークの道路標示により、ドライバーがスピードを落とすことをねらったもの

【道路標示（文字・イメージ）】



追突注意の文字及び減速マークの道路標示の併用により、ドライバーがスピードを落とすことをねらったもの

車両速度を抑制する道路構造の事例（生活道路）

【ハンプ】



道路を凸型に舗装し、事前にこれを見たドライバーがスピードを落とすことをねらったもの

【クランク】



車の通行部分をジグザグにしたり蛇行させたりすることにより、車のスピードを抑制しようとするもの

【狭さく】



車道部分を狭めたり、視覚的に狭く見せかけることにより車のスピードを抑制しようとするもの